

一般質問

各会派の略称は次のとおりです。
 (日本共産党) 日本共産党小金井市議団
 (公明党) 小金井市議団公明党
 (改革連合) 改革連合
 (改革21) 改革21
 (生活ネット) 小金井生活者ネットワーク
 (自民党小金井) 自由民主党小金井市議団
 (民主党) 民主党小金井市議団
 (市民の党) 市民の党
 (市民自治) 市民自治がねい
 (湧湧環境) 湧く湧く環境クラブ
 (市民ウェブ) 市民ウェブ
 原稿は市長部局の答弁等も含めて各議員が作成しております。

駅周辺の開発整備と 小金井市の将来は



武井正明(改革連合)

① 安心安全な小金井市を目指す施策を進めるため、(ア)安全パトロール隊を創設すべきと質問しましたがどう検討されましたか。(イ)世田谷区では安心安全まちづくりスクールを開講し防犯リーダーを育成する予算が計上されていますが本市でも実施しませんか。

② 駅周辺の開発整備と小金井市の将来について、(ア)武蔵小金井駅南口再開発事業の進捗状況はどうなっていますか。(イ)近隣市との税収比較はどう

総務部長 (ア)平成16年度中に実施する方向で考えます。

(イ)防犯リーダー的な者を育てていくことも含めて検討していきたいと思えます。

完成する3年後まで、市としての考え方をまとめてJRに要望を出せば間に合うとの回答を得ている。(イ)高架下は、今の在来線の幅で高架になるため、幅11メートルと限られた空間だが、有効利用について幅広く要望等を承っており、平成16年度は高架下利用の方向付け、利用目的、利用方法、利用場所などを詰めていく年と思っています。

JR中央線高架下 利用について



五十嵐京子(改革連合)

① JR中央線高架事業は、現在の計画では3年後に線路の高架化が完成し、5年後に側道を含めて完了の予定である。(ア)側道の完成を待たないと高架下の利用はできないと聞いたが、高架下の利用については、いつまでに考えていくのか。(イ)庁内での検討結果は災害対策用倉庫や文書倉庫など出ているが、線路北側に側道ができると、市民の目に止まりやすいし、利便性の高い場所になる可能性もある。公園、起業支援策としての一坪ショップなど市民利用を、市民の要望を聞きながら検討しないか。

都市建設部長 (ア)高架橋の

自治総合センター助成金の 用途について



露口哲治(自民党小金井)

① 市は自治総合センターの助成金で四つの会館に備品を購入した。助成金は自主防災、コミュニケーション事業などに該当する。(ア)防災意識の向上や災害救助体制の強化が望まれる中、自主防災機器の購入費や、都市部での直下型地震に備えて個人住宅の耐震診断・

防災交通課長 (ア)個人住宅

の耐震診断などは助成対象とはならないが、単独事業として検討課題にしていきたいと認識する。

企画財政部長 (イ)集会所で

は高価な機器を管理する体制が無いが、今後は町会、自治会の意見をいただきながら調整をさせてもらう。

② 駅前駐輪場の確保と放置自転車対策について、JRと積極的に協議をしているか。

総務部長 自転車に関する全国的な話し合いの中でJRに駐輪場設置を要望している。

なっていますか。(ウ)将来に見る小金井市の税収構造をどう考えますか。

街づくり担当部長 (ア)地元

地権者説明会の後、2月20日都市公団から国土交通大臣に事業認可申請を行ない、4月末ごろ事業計画認可、平成17年9月ごろ工事着手となります。(イ)国分寺市や武蔵野市と比較しても法人市民税、固定資産税も著しく低い。(ウ)少子高齢化となり再開発は必要です。



着々とすすむJR中央線高架化工事

超高齢社会に向かつて 小金井市はどうするか



鈴木洋子(公明党)

① まもなく5人に1人が高齢者という時代を迎えて、これからの超高齢社会にどう対応してゆくかは、早急に検討が必要である。(ア)大洋村に学ぶ健康づくりについて、運動に力点を置いた事業に取り組む医療費を削減したこと全体的にも有名になった。筋肉

トレーニングやステップトレーニングによって健康維持の効果が証明されている。「寝たきり」を目指し、小金井市もぜひ参考にしないか。(イ)健康と医療費の関係について、大洋村のデータによると、小金井市にあてはめると4億円位は大洋村方式で医療費が削減出来ることになる。(ウ)小金

痴呆性高齢者への 支援について



野見山修吉(市民の党)

① 30年後65歳以上の高齢者人口は約60%増だが、痴呆性高齢者は3倍増となる。(ア)痴呆性高齢者のサービスを増やさないか。(イ)気軽に相談してもらおうための普及啓発に工夫を。(ウ)事業者連絡会を活用した情報交換と研究を。(エ)徘徊高齢者への見守りネット

ワーク充実のために、国の補助事業の活用を。

介護福祉課長 (ア)痴呆対応の専用型を拡大するよう、今後事業者と研究する。(イ)一般的な広報はしている。今年度痴呆性高齢者対応の研究事業を行い、その成果を踏まえたマニュアル的なものを作りたい。(ウ)困難ケース以外の情報

らいたい。(イ)貴重品ロッカーを設置しないか。(ウ)体育課が新しい利用者と教室やサークル等とのコーディネート役をやらぬか。



教育部長 (ア)既存の照明

設備で改善が可能かどうか検証したい。(イ)設置に努力する。(ウ)ホームページの中で、利用案内、参加案内、スポーツ団体等の紹介などをしていきたい。

② 総合体育館の夜間の利用がしやすいように、(ア)敷地内に街灯を増やし、またエントランスの明るさを改善しても

安全で歩きやすい道に改良を



安全で歩きやすい道に改良を